

2024年JSSCR 教育セミナー

## 「高齢者のストーマ支援を考える！ Part2」 病院WOCNのストーマ保有者への関り

杏林大学医学部付属病院  
皮膚・排泄ケア認定看護師  
平山 千登勢

COI開示：今回の発表に関して、  
開示すべきCOIはありません

倫理的配慮：画像などは、説明・同意に  
基づき使用し、個人が特定  
されないよう配慮しています

### 杏林大学医学部付属病院

- ・東京都多摩地区…三鷹市
- ・多摩地区唯一の特定機能病院
- ・がん診療、難病などの診療拠点病院
- ・病床数：1153床
- ・ストーマ造設件数：年間約100～120件  
消化器ストーマの一時的造設：5割程度  
年間ストーマ外来受診者数：延べ人数約1000人程度



急性期病院の役割として…  
・急性期を脱したら速やかに地域へ  
・常に空床確保  
・安心して退院できる生活支援

- ・入院決定時から入院前支援
- ・入院時から退院支援
- ・術前外来の実施
- ・クリニカルパスの活用

2021～2022年 当院の平均在院日数：10.6日  
消化器ストーマ造設患者：34日  
泌尿器ストーマ造設患者：40日

入院期間延長の要因  
と  
退院支援について調査

### 入院期間延長に影響していたのは…

- ①高齢者が多い：65歳以上が約7割
- ②緊急入院・緊急手術に伴う病状が不安定
- ③回復期の遅延
- ④社会資源の活用・導入する患者が多い
- ⑤看護師の社会背景の情報収集と社会資源の知識不足

## 【本日の内容】

取り組んでみた

### 高齢者オストメイトを支える3つのポイント

- 1.情報：実践的・実用的な内容で情報共有  
フレキシブルにサポート
- 2.ケア：どこでも・誰でも…を考慮
- 3.教育：スタッフ教育と介護者指導

## 1. 情報：地域への情報共有とその方法

今までにも病院や施設の看護師、ケアマネジャー、ヘルパー、訪問看護師、介護者、役所の職員さん達とは…



- ・サマリー
- ・診療情報提供書
- ・手紙
- ・メモ
- ・連絡ノート
- ・電話
- ・FAX
- ・メール

- ・入院病棟
- ・外来
- ・入退院支援室
- ・MSW



コロナ禍では、面会制限で退院前カンファレンスや介護者への指導やストーマケアの見学などができない

**コロナ禍では、今まで当たり前だった事ができない状態!**

**退院後のサポートも変化**

- 施設の入所制限
- 施設からの外出禁止
- 訪問看護や往診の回数減少
- デイサービスにも行けない
- 様々な所から電話での問い合わせが増加

もっと患者さんの状況が伝わるように…

病棟での今まで見学やストーマケア練習で伝えてきた事を書面で伝える事が課題の一つに

- ストーマケア物品の購入場所と方法…物品の使い方だけでなく、支払い方法なども
- ADLとストーマケアの習熟度状況…本人と介護者が何が、どこまでできたのかをより詳細に
- 今後予測される病状とストーマケアの変化や対応について
- 受診予定日以外の緊急対応の相談窓口や受診方法



もちろん、ストーマ外来にも問い合わせが多く…

実践的・実用的な情報共有にチャレンジ…

- 連絡ノートに写真貼ってみよう!
- 携帯で動画撮影して送ってみよう!
- ZOOMやTeamsで見学や相談に応じよう!

**【実際の情報共有のご紹介…ケアブック作成】**

事例紹介：80代女性、直腸がん術後、認知症で要介護娘さんと2人暮らし、術前からデイサービスに通っていた術後はデイサービス週2回、訪問看護も週1回導入娘さんから、サービスを受ける場所によって、やり方も違えば、装具の持ちも違うので、何とかしたい!と相談を受け…

じゃあ、私が写真を撮って、分かる様に本を作るわ!

お手伝いします!

潤滑剤やリムーバーも、使い方を具体的に書いておかないと、やって貰えないのよ…



外来には、半年～8ヶ月程度で受診

- 新たな情報やケアがあれば更新
- 受診後には、必ず訪問看護と電話で情報共有
- 良かった事やできている事は、特に伝える

【実際の情報共有のご紹介…メール】

事例紹介：90代男性、要介護  
 直腸がん術後15年以上経過しているため、消化器外科は終診  
 近医クリニックで高血圧の内服加療中  
 2017年から装具漏れとスキントラブルがあり、訪問看護導入  
 2017年6月に訪問看護師さんから、「装具が小さい物しか無く、漏れて  
 しまうが、他に何か装具は無いか」と相談を受け、外来へ受診される  
 皮膚科で偽上皮腫性肥厚と診断

2017年6月  
初診時



年に2~3回来院し、液体窒素の処置と装具、皮膚状態を確認

差出人: 訪問看護師さん から  
 日時: 2019年10月17日 17:08:20 JST  
 宛先: 私へ  
 こんにちは😊○○さんの画像を送りました。宜しくお願ひします!!

訪問看護師さんと、事前に訪問日や時間を確認し、  
 その場で写真を送ってもらい、  
 電話で皮膚状況や処置方法をお互いに確認する



差出人: 訪問看護師さん から	
日時: 2020年5月	
宛先: 私へ	
件名: Re:ご連絡、ありがとうございました	
こんにちは😊お世話になっております。 ○○さんですが6月4日の外来は、外出がしんどいとの事で、 今回はキャンセルで、次回は3ヶ月後に予約を宜しくお願ひ致します🙏 本日の画像です。少しずつ良くなっているかと思いますが？	
差出人: 訪問看護師さん から	
日時: 2020年9月	
宛先: 私へ	
件名: ご相談です	
こんにちは😊○○さんの件で相談です。 8月までは漏れもなく順調でしたが、9月に入り2日間続けて漏れ、 皮膚が全体的にひざん気味になり困っています。 このままだと皮膚の悪化が懸念されます！ よろしくお願ひいたします🙏	

高齢者を支える場所や職種は、  
 多種・多様なため、  
 フレキシブルな対応が望まれる

2. ケア：どこでも、誰でも…を考慮したケア

事例紹介：90代女性(術後12年目)、要介護  
 膀胱癌で膀胱全摘出+回腸導管造設術  
 認知機能低下で介護サービス開始し、現在は施設入所中

- 認知機能の低下に伴い、本人が用手成形皮膚保護剤の付け忘れ、排泄口の扱い間違いや接続管の紛失などが頻発
- デイサービスやショートステイでも、接続管の操作間違えや紛失がある
- 施設入所を機に施設職員と相談で装具変更



接続管の操作が不要で、物を紛失しない  
 ストーマ装具を選択

3. 教育：スタッフ教育

- 院内全体や地域研修では…今までは集合研修が中心で、演習も実施⇒クラスター対策で約4年間できていない
- 病棟では、新人と経験者の対象を分け、消化器・泌尿器・婦人科など数か所の病棟から参加者を募り、演習中心の研修を年に数回実施⇒不可
- 病棟会の中で学会報告やトピックなどを紹介⇒紙面開催
- 院外研修もZOOMなどで参加を促す⇒参加率悪い、忘れる



スタッフの教育も密にならず、でも、直ぐに活用できる内容で  
**再考が必要**

- コロナ禍になってからは…資料を配布する→見ない、見ても「そんな事、書いてあったっけ？」
- Lineは、病棟の災害時の連絡網として作成したが、他の連絡事項でも活用中
- **Lineで動画を見て貰う(3分程度)** テストを最後に1問



### 【Lineで配信した勉強会の一例をご紹介します】

- 術後に使用するサポートセットの違いや内容について



### 教育：介護者指導

今までは、介護者の装具交換練習も「ある程度できるまで」数回実施、入所施設や在宅サポートも退院前カンファレンス等で情報や状況確認

コロナ禍では…

- 面会や見学の回数は少なく、時間は短く
- 要点だけを伝える



ここだけは！という指導ポイントを5つに絞る

- 装具交換の方法⇒とりあえず、一連の流れや物品の使い方を知る
- 購入する物品と購入場所
- 今後の予測⇒術後の状況変化に伴うストーマや装具変更の可能性
- 介護者に何をしたいかを明確に
- 困った時の相談方法

### 【ま と め】

**高齢オストメイトを支える取り組みとして…**

- 1.情報：実践的・実用的な内容で情報共有  
フレキシブルにサポート
- 2.ケア：どこでも・誰でも…を考慮
- 3.教育：スタッフ教育と介護者指導